

SPF2154

音声・接点伝送装置

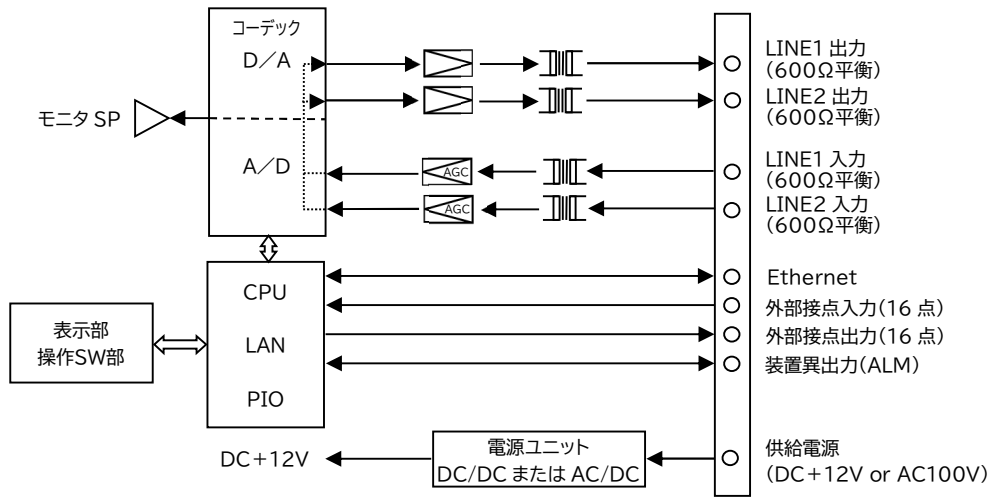


参考:外観イメージ

◆主な特長

- 本装置は Ethernet(IP網)を伝送路とし、音声信号と接点信号を双方向に伝送するIP変換装置です。音声信号と接点信号を符号化し、パケットデータにて伝送し、対向側で受信したパケットデータを復調し音声信号と接点信号として出力します。
- 音声のサンプリング周波数と圧縮形式を選択でき、伝送帯域および音質を任意に設定することができます。音声チャンネルは入力2ch、出力2chを双方向に伝送します。
- 接点信号を伝送する機能を搭載
16点の接点信号を双方向に伝送可能です。(ユニット増設により最大32点まで可能)
- モニタ機能を搭載
伝送中の音声信号を、送信・受信または両方を選択してモニタスピーカより視聴可能です。
- 試験再生用操作機能を搭載
ローカル操作による正弦波音源の試聴を行うことが可能です。
- 表示モニタを搭載
パラメータ設定機能、録音・再生レベルのモニタ及びネットワーク設定が可能です。

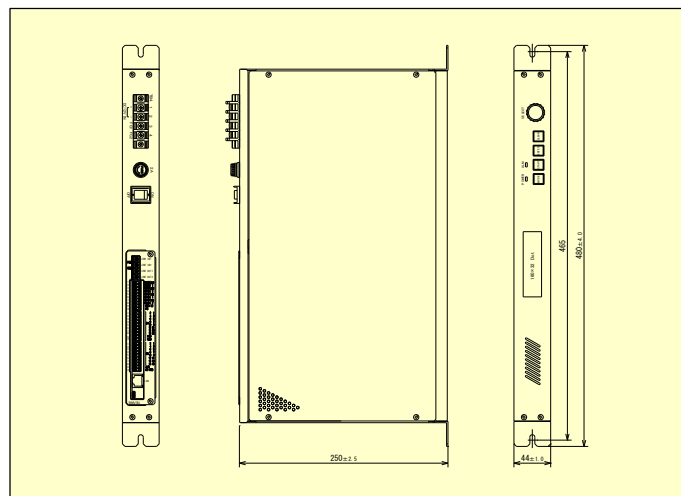
◆構成図



◆主な仕様

項目	仕様
電源	DC+12V / AC100V
外形寸法(mm)	H44 × W480 × D250
質量	約 3.0kg
動作環境条件	性能保証範囲: 温度0~40℃ 湿度35%~80% 動作保証範囲: 温度-10~50℃ 湿度30%~90%
消費電力	AC100V/15W 以下(待機時:100mA、動作時 130mA)
圧縮方式	16ビット リニアPCM方式、8ビット u-1aw/a-1aw方式、4ビット ADPCM方式
サンプリング周波数	11.025kHz, 22.05kHz, 8kHz, 12kHz, 16kHz, 24kHz 周波数許容差: ±100ppm
伝送間隔	5ms, 10ms, 20ms, 40ms, 60ms, 80ms
受信バッファ	低・中・高の3段階から選択(低:バッファ小/低遅延)
ネットワーク I/F	RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX
プロトコル	IP, TCP, UDP, RTP, HTTP
音声入力	LINE1, 2: 600Ω±20%平衡, 0dBm/1kHz 標準 入力範囲: 0~-20dBm
音声出力	LINE1, 2: 600Ω±20%平衡, 0dBm/1kHz 標準出荷時設定, S/N: 50dB以上
モニタスピーカ	8.25dBs/8Ω(0.5W)
再生周波数特性	0.3~3kHz/±3dB以内
外部入出力	入力16点: フォトカプラ入力 出力16点: フォトMOSリレー出力
装置異常出力	無電圧接点

◆寸法図



SPF2154
音声・接点伝送装置



昭和通信工業株式会社

☎491-0101

愛知県一宮市浅井町尾関字北田35番地

TEL 0586(51)0627

<https://stkinc.jp>